

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会(Hogaku kenkyu henshu iinkai)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1986
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.59, No.2 (1986. 2) ,p.201- 201
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	須藤次郎先生退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19860228-0201

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編 集 後 記

須藤次郎先生は、今春三月をもって慶應義塾を定年退職せられる。ここに七編の論稿を得て須藤先生退職記念号を編集し、先生の多年の学恩に対するわれら後進のささやかな謝意を表するものである。

本記念号の編集の作業は、実に多くの方々の温かな御支援の下に、順調に進行し、完結をみることができた。御寄稿いただいた方々はもとより、本号発刊に際して直接間接に御協力下さった方々に、厚く御礼申し上げる次第である。本号に執筆を予定されながら、止むを得ぬ御事情から志を果されなかった方々の御厚意にも深謝申し上げたい。その方々の論稿は、追って本誌普通号の紙面を飾ることになろう。

須藤次郎先生は、その青少年期を送られたブラジルから来日されて前大戦中の慶應義塾法学部に学ばれ、学徒動員により応募、復員後、昭和二四年に慶應義塾に勤務せられてより現在に至るまでの間、国際私法の研究ひとすじに学究の道を歩まれた。先生の故郷ブラジルのサンパウロ大学と義塾法学部との間に現在結ばれている学問的交流は、先生留学中の御尽力により開拓

されたものである。戦後の慶應義塾は、旧制大学から新制大学への転換、通信教育部の開設・維持、学園紛争等々、多事多難な時期を迎えるのであるが、その全期間を通して、先生は、あるべき大学像、あるべき慶應義塾の姿、そしてそこにあるべき人間のあり方を、みずからの良心の中にひたすら追求してやまられなかった。自由の天地ブラジルに成長せられた先生の闊達な精神を容れるには、戦後日本の文化的風土は、時としてなお狭きに過ぎるものがあつたかと思われる。

後進の目からみると、歩むべき道を忘れてみずからを高くとする者に対する先生の態度はもつとも厳しく、求める道を失って迷う者に接する先生は、つねに柔和であられた。どれほど多くの後進の学徒が、その学問、人生の危機に際して先生に慰さめ励まされて義塾を巣立って行つたか、知る人は少くない。

ある人が何であり、何であつたかは、その人が去つた後にはじめてわかるといふ。須藤次郎先生退職記念号の編集を了えて、この言葉がもつ重みを痛感するばかりである。

昭和六一年二月

法学研究編集委員会